

景観まちづくり特集号

美しい風景に出会えるまち



石垣が続く渋沢下の庭地区



まちを見つけてきた水無川



西大竹に残る板塀

「思い出」をつなぐ

家族の思い出の品や写真を大切にするように、まちの思い出もつないでいけないものでしょうか。

毎日、通学の途中で目にした生垣や板塀、神社や石仏はもちろん、建て替えのために壊した自分の家も大切な記憶です。

まちは変化しますが、記憶を尊重して地域の思い出をつないでいくことが、深みのあるまちづくりにつながっていくのです。

市では、「秦野市景観まちづくり条例」に基づき、地域で親しまれ、まちづくりの核としていくべき景観拠点を28か所登録しています。

「渋沢本村」と呼ばれる下の庭地区にある総延長約300メートルの石垣通りは、玉石積みと切り石積みの石垣が混在し、特徴ある農村集落の景観を今に残し、秦野の歴史文化に親しみを感じさせます。

第2回 ふるさと秦野生活美観表彰 生活美観大賞が決定

昨年10月15日から12月25日まで市民の皆さんから候補を募集した「景観に配慮した店舗や事業所」について、審査の結果、渋沢の「手打そば くりはら」が大賞に選ばれました。

個人の住宅だけでなく、店舗や工場、事業所などでも積極的に景観まちづくりが行われています。



約65年前に建てられた建物を活用した「くりはら」。食料品店を営んでいた祖父母の住まいの「思い出」をつないでいます。適切に維持管理がされていて、地域の景観まちづくりに貢献できるところが評価されました。



大賞を受賞した栗原孝司さんは、「もともと古いものが好きで、いろいろな方のアドバイスを受けて、2年がかりで改装しました。古いものを大切にしたい気持ちが多いの皆さんに伝わって欲しいです。」と語りました。

「今回は、工場や事業所など23の候補が挙げられました。家族や住まいの「思い出」を大切にすることを「くりはら」を通して紹介したいと思いました。若い方が景観まちづくりに関心をもっただけは、素晴らしいことです。」(景観まちづくり市民会議会長の福田省三さん)



「市民の日」でも候補を募集

募集 生活の一部にとりいれたいくなる候補を推薦! 第3回 ふるさと秦野生活美観表彰

一人ひとりの日常の心がけが美しい街並みを創ります。第3回となる今年は、住宅を対象とします。

募集期間 9月30日(木)まで

対象 ちょっと立ち止まったり、思わず前を通りたくなるような、居心地のよい街並みを創り出している住宅

推薦方法 推薦用紙(市役所西庁舎2階都市づくり課と市ホームページにあります)を都市づくり課まで郵送又はEメール(tosidukuri@city.hadano.kanagawa.jp)、ファクス(82)6793で提出



花を飾った美しい玄関先



通りからも庭の緑を楽しめる

販売中 いつまでも残したいみんなのふるさと 秦野の魅力が満載



ふるさと秦野景観100選

写真とともに地図がついているので、実際に足を運ぶことができます。「100選踏破」を目指し、市内をウォーキングするときにも活用できます。(1冊1500円)

秦野景観ポストカード

暑中見舞やちょっとしたあいさつにはもちろん、秦野を離れて遠方で暮らす方に「懐かしい風景」を思い出してもらうことができます。(1枚50円)



販売場所 市役所西庁舎前コンビニエンスストア、市内一部書店等

問い合わせ 都市づくり課 ☎(82)9643